



青南だより

令和7年11月号
港区立青南幼稚園
園長 石川 典子

園庭にはキンモクセイの香りが漂っています。幼少期から好きだったこの香りに、この時期になると毎年、秋の始まり“ちいさい秋”を感じます。時が経ち、住む場所や景色が変わっても、「香り」は忘れかけていた原体験や原風景をよみがえらせてくれます。

本園の色付き始めた柿や紅葉も“ちいさい秋”です。柿の実は少し色付きましたが昨年と比べて数が少ないためか、園庭の奥にあるためか、今のところ気付いている幼児はいないようです。幼児が発見するのはいつか、ビックニュースとなって子どもたち間で情報がどのように伝播していくのか、今後がとても楽しみです。きれいな色に熟した実を子どもたちと一緒に収穫することは、本園が大事にしている体験の一つです。

親子で楽しむ収穫の秋=ウェルビーイング

現代は一年中色々な食材を食べることができますが、食べることを大切にして、季節による食材の違いや旬のおいしさなどを感じると味覚が育ちます。生活の中で特定の匂いや味のみに限られた環境の中で過ごしていると、感覚刺激が減少し、臭覚や味覚の偏りにつながります。様々な匂いや味に触れる体験は、子どもたちの諸感覚を刺激します。

11月は収穫の秋です。ご家庭でお子さんと一緒に季節のものをおいしく味わってください。子どもたちは食に係ることが大好きですから、一緒に調理することは、子どもにとって楽しい体験となります。家庭での食卓は子どもたちの心を温め、心を豊かにしていきます。食する喜びを感じ、やがて食べ物や食べ物を作った方に感謝の気持ちをもつようになります。家庭での食事が子どもたちにもたらすものは大きいですね。

今月は、深まりゆく秋の自然に子どもたちが十分に触れながら、様々に心を動かす体験ができるようにして、子どもたちの学びや育ちを支えていきます。

青南幼稚園の園庭での経験が、一人ひとりの原体験・原風景につながり、幼児期の楽しく幸せな気持ちが心に刻まれ、幸福感のある人へと成長していくことを願います。

令和7年度 港区立青南幼稚園経営計画 ー主体性を発揮して みんな笑顔の幼稚園ー

(4)教材や行事を工夫し、心動く体験へとつなげ、豊かな学びを保障します。

⑦季節の自然や生き物との出会いを、幼児の豊かな体験や学びにつなげる

(幼稚園経営計画 4 経営の重点の今年度の主な取り組み より)

